

英語教育について

1 生徒が授業外に英語でコミュニケーションをする機会を創設

(1) 「イングリッシュ・シャワー」の実施（平成23年度より）

日常的に英語を聞いたり話したりする機会を増やすことにより、音声教育の充実を図るとともに、高校生の英語コミュニケーション能力を向上

- ・すべての高等学校が生徒のレベルにあった教材を購入し、以下のような活動を継続的に実施

（例）ALTとのランチタイム、洋楽タイム、始業前の10分間リスニング等

(2) 「土曜スクール」の実施（平成23年度より）

ALT等を活用して、英語に触れる機会を増やし、高校生のコミュニケーション能力を向上

- ・県立高校8校で実施
（高志、金津、大野、武生、武生東、敦賀、若狭、福井商業）
- ・ALTとのゲームやディスカッション、英語でのプレゼンテーションを実施

(3) 高校生海外語学研修の実施（平成23年度より）

- ・県内の高校生101名を米国カリフォルニア州等に15日間派遣

※内容 語学研修、地域交流活動、ホームステイなど

(4) 高校生英語キャンプの開催（平成22年度より）

- ・夏季休業中の3日間にわたり、英語漬けの宿泊型のキャンプを実施
- ・ALTや留学生との英語コミュニケーション活動、英語ディベートにチャレンジ

※H24年度（県内2会場で実施）

参加高校生 91名 参加留学生 22名 参加ALT 28名

(5) 高校生ディベートスキルアップ（平成20年度より）

- ・研修会や福井県英語ディベート大会の実施により、高校生のディベートスキルを向上

- ・7月から9月まで月1回の研修会を開催し、英語教員とALTが具体的に指導

- ・ジャッジ講習会を開催（2回）

- ・8月19日 教員対象 9月23日 ALT対象

- ・10月28日（日）に福井県大会を開催

県立高校6校（9チーム）の48名が参加

※藤島②、高志、大野、武生、武生東②、若狭②

- ・優秀チーム（武生東、若狭）が全国大会出場

※全国大会（千葉） 12月15日～16日

(6) NHKの英語教材の有効活用を推進

- ・英語教育のノウハウが蓄積されたNHK教材を活用し、英語能力を伸ばす授業法を研究
- ・県内中学校10校で実施
(大東中、足羽一中、灯明寺中、丸岡南中、松岡中、陽明中、
河野中、武生一中、武生六中、気比中)
- ・活用教材:「基礎英語」、「チャンツ」、「リトルチャロ」など

2 英語教員の指導力向上や授業改善

(1) 英語教員集中セミナーの開催 (平成22年度より)

- ・英語教員の英語コミュニケーション能力の向上のほか、授業における指導力および授業改善を図る。
- ・夏季休業中の3日間にわたり、英語での授業体験や優れた実践(授業改善やディベート、指導法の工夫など)をしている大学教授等による講義・演習を受講
※平成24年度 平成24年8月6日(月)～8日(水)に実施
※70名参加 満足度4.3(5段階評価)

(2) 英語指導改善拠点校の指定 (平成24年度より)

- ・県内4地域に高校各1校を拠点校に、中高各1校を協力校に指定
※拠点校 金津、武生東、若狭、福井商業
- ・外部有識者の指導による授業実践を積み上げ、指導と評価を改善
- ・公開授業や研究協議会の実施を通して、成果を普及

(3) 英語教員海外派遣事業の実施 (平成24年度より)

- ・拠点校、協力校の教員を中心にラトガース大学(アメリカ)に4週間派遣し、教員の英語力および授業力を強化
※平成24年7月29日(日)～8月26日(日)
- ・12名(高校9名、中学校3名)を派遣
- ・派遣された教員は、地域の中核教員として、校内ばかりではなく地域における授業改善リーダーとして活躍を期待
- ・研修の満足度 4.0 ※5点満点

福井県オリジナル英語教材について

1 構成

(1) 教材全体の構成

- ①プロローグ
- ②レッスン 1 福井県 2 越前ガニ 3 めがね
4 そば 5 若狭塗 6 恐竜 7 東尋坊
- ③エピローグ
- ④ディベートトピック
- ⑤パッケンからのメッセージ
- ⑥福井出身者からのメッセージ (小松長生氏 他6名)
- ⑦各レッスンのスクリプト (英文)

(2) レッソンの構成

※抜き刷り参照

2 活用

- 予習 家庭でDVDを視聴
- 授業 DVDを視聴
 - 内容について英問英答
 - 「会話に役立つ表現」で対話練習
 - 詳しい情報を視聴
- 復習 テキストを見ながら、DVDを繰り返し視聴して、音読練習やプレゼンテーションの練習
- 表現活動 各レッスンの最後のプロジェクトを発表